



ナビ：今日は理数コースの生徒2人からの質問に、科学探究を担当する栗田先生と、本校理事長の北脇先生にお答えいただきます。

Q 佐川さん：なぜ理数コースを立ち上げようと思ったのですか？

北脇先生：科学技術の著しい発展により暮らしが大きく変化する中、科学技術の担い手の育成の重要性とともに、個人の豊かな生き方においても理数教育の必要性を感じ創設しました。

Q 北脇先生：浜松聖星高校の理数コースを選んだ理由は？

佐川さん：「つくばサイエンスツアー」など、理科の学びを専門的に深めていく魅力的なプログラムがあったからです。僕はもともと理科が大好きなので、そこに強く惹かれました。

高山さん：僕は数学が好きで、将来は数学を生かせる仕事に就くのが夢です。また学校案内で「大学見学」のことを知り、進路のことも考えてくれるコースだと思い志望しました。

Q 高山さん：栗田先生に質問です。科学とは何ですか？理科や数学を学ぶことに、どのような意義や面白さがあるのでしょうか？

栗田先生：好奇心を満たすことが重要なプロセスだと考えます。私には孫が3人いますが、2歳くらいのときに面白かったのが、引き出しは必ず開ける、穴があれば必ず手突くという行動。これって好奇心ですね。科学の出発点は、この好奇心にあると思うのです。私にとって好奇心は科学の根源になる部分です。

生徒×先生

理数コース 座談会

今年度から始まる「理数コース」「科学研究」をテーマに、
生徒×先生の座談会を行いました。



高山 和紋 さん
1年7組 理数コース
(鏡塚中学校 出身)

佐川 旭 さん
1年7組 理数コース
(鏡塚中学校 出身)

栗田 敬 先生
北脇理事長と高校・大学の同級生であり、東京大学教授を経て現在は東京工業大学 ELSI で活躍している。

北脇 保之 理事長
浜松北高から東京大学に進学。浜松市長を経て、本校の理事長に就任して、今年で13年目になる。



ナビ：高山さんと佐川さんは、これまでに栗田先生の実験講義を2回受けたわけですが、どんな感想を持ちましたか？

高山さん：CO₂の濃度についての実験を色々しましたが、どうして濃度が高くなるのか、さらにそれが生命活動とどうつながっていくのか、という考察がとても面白かったです。

佐川さん：授業の冒頭で、科学は身近なところから宇宙に至るまでに存在することを教えてもらい、科学の奥深さを知りました。自分もそういうところに気付けるようになりたいと思いました。

Q 佐川さん：部活動についてですが、僕は陸上部、高山くんはテニス部に入りました。先生方は高校時代、何部に所属していましたか？

栗田先生：中学のときから地学の研究をしていたことから、高校でも地学部。結局それが大学まで続き今に至ります。好奇心が礎になるものが皆さんにも見つかるといいなと思います。

北脇先生：私は高校1・2年生のときは生徒会長、3年生では学校祭の運営委員長だったので、部活はいわゆる帰宅部でした。ただ、人の前に立つという経験は後の人生に大いに活きています。

Q 高山さん：今、一番楽しいことは何ですか？

北脇先生：予期せぬ質問ですね！働き盛りの頃は目の前の仕事をするのが使命でしたが、70歳を超えて時間に余裕ができた今は、世界の古典など本を読む時間が非常に楽しいです。

栗田先生：私は研究が楽しいです。今仲間と一緒に「火星で農業をする」という研究に取り組んでいます。この宇宙農業の研究は、高大連携講座にもつながっています。

Q 佐川さん：最後に、高校生活へのアドバイスをお願いします！

北脇先生：学び方の基礎を身につけてほしいと思います。正解はないかもしれないという前提のもとに問いを立て、自分なりの答えを見つけていく。そんなことを大事にしてください。

栗田先生：研究者には、問いを立てる人と問題を解決する人がいて、後者が注目されがちですが、実は前者も非常に重要。「これはおかしいぞ」という想いを大切にしてほしいと思います。



大学入試の基礎知識

大学入試は多様化しているため、複雑なシステムと感じるかもしれません。そこで本校の進路スペシャリスト佐藤先生に、大学入試の仕組みと本校における対策を分かりやすく解説してもらいました。



大学入試の選抜方法と聖星高校における対策

総合型選抜・学校推薦型選抜 対策

総合型選抜とは、「高い学習意欲」や「学びへの明確な目的意識」が選抜基準として重んじられる入試です。出願時に活動報告書等、提出書類が多くなります。**学校推薦型選抜**とは学校長の推薦を受けないと出願できない入試形態です。「公募制」と「指定校制」があります。専願と併願可能なものが混在していますが、「指定校制」はすべて専願です。本校では、サタディ・プログラム内の小論文講座で添削指導を行っています。特に3年の夏以降は希望者に対して面接・小論文指導を全教員で個別に行っています。



一般選抜対策

国公立大学では、共通テストとその大学独自の記述試験の両方の対策が必要となります。共通テスト対策については平日補講と夏期補講（前期）および2学期期末試験後から実施される特別日課で、記述試験については夏期補講（後期）と2学期の記述演習および共通テスト終了後の一般選抜受験者用の特別授業（個別含む）において対策していきます。**私立大学**では共通テスト利用入試や独自のマークシート方式の試験が多いのですが、記述試験を課す大学も少なくありません。マークシート対策を共通テスト対策と併用しながら行い、記述に関しては過去問演習を中心に個別対応していきます。国公立・私立とも、毎年その大学の特徴を打ち出した試験を実施してくるため、赤本などを利用した過去問演習が欠かせません。



国公立大学 ～合格の鍵～

国公立大学の魅力は授業料だけではなく、私立大学に比べて定員が少なめで教員1人がフォローする生徒数も少ないため指導が行き届きやすいという利点があります。選抜方法は前述の選抜方法3パターンですが、総合型や学校推薦型においても共通テストを課す場合が多いです。第一志望に現役で合格するためには早い段階から覚悟を決めて学習に取り組む必要がありますが、3月まであきらめずに受験すれば、第一志望とは限らないが希望者の半分は国公立大学に合格できます。「どうしても国公立に進学する」という決意が大切です。



「センター試験」から「共通テスト」に。何が変わった？

共通テストは令和3年度入試から開始され、昨年度が3回目の実施となりました。ITが発達したこれからの社会で活躍するには思考力や表現力などがより重要であると考えられた結果、ただの暗記にとどまらずに読解力が必要とされる内容に変更されました。問題の文章量が圧倒的に増加したため、数学①は試験時間が60分から70分になりました。平均点もセンター試験より低くなる傾向があります。共通テストはセンター試験よりも事前の準備が必要になったといえます。

卒業生メッセージ



東京外国語大学 言語文化学部 1年 伊藤 琴雪さん 2022年度卒業

■ 聖星のよさ

先生方が生徒に寄り添ってくれること、宗教の授業があることです。宗教では、キリスト教の学びを通して今の時代に必要と多文化理解の力を養うことができます。

■ 勉強方法

様々なことに興味を持ち、深く掘り下げようとする習慣をつけることが大切だと思います。例えば、好きな作品で使われている英語の意味を調べてみるなど。あとは先生を頼ること。

上智大学 カトリック特別入試

カトリック特別入試とは、カトリック校にのみ存在する総合型選抜です。本校では上智大学と南山大学の全学部全学科において大学の提示する規定をクリアすれば、希望者は全員出願することができます。合格率はその年にもよりますが、だいたい毎年80%以上です。特に上智大学に関しては受験日が早く（今年は9月30日）7月後半からクラス担任や指導担当教員と出願準備が必要になります。ホームページにも掲載されていますので「カトリック特別入試」で検索できます。いずれも受験指導を本校教員が個別に対応します。特に面接練習では必ず自分と深く向き合うことになるため、受験後は生徒が大きく成長します。卒業生から就職試験にもその経験が役立ったという話をよく聞きます。

文化祭 REPORT

令和5年度のスローガン「青春をずっと、楽しいをもっと」のもと、2・3年生によるクラス展示や食品販売、文化部展示、体育館行事、有志企画、同窓会バザーなどが行われました。1年生は校内装飾で文化祭を盛り上げました。



生徒会長よりメッセージ



こんにちは。新任生徒会長になった稲吉有俐です。今年の文化祭では3年ぶりに食品販売もできるようになり例年以上の方々に訪れていただけてとても盛り上がりました。そして、今年から僕たちの学年もクラス展を出せるようになり昨年以上に楽しむことができました。また、生徒会としてもこの行事が先輩とする最後の仕事だったので大成功してとても嬉しいです。体育祭からは僕たち2年生が主となってやっていかなければならないので先輩たちから教わったことを活かせるように頑張っていきます。

生徒会長
進学コース2年
稲吉 有俐さん

生徒会活動の様子はこちらからチェック！



PICK UP! 部活動

その他の部活動は
こちらからチェック！



ALL OUT!! 陸上競技部

全国で通用する選手育成を目指しています！全員が必ず選手として記録会などに出場しています。チームの目標、自分の目標達成のために日々練習に励んでいます。合言葉は“ALL OUT!!”

活動実績

- 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
【女子走高跳】加藤那奈美 出場
- 第70回東海高等学校総合体育大会
【女子走高跳】加藤那奈美 優勝
【女子4×100mR】米澤・平野・後藤・澤近 決勝進出
【男子三段跳】柴田樹希 出場
- 第66回東海陸上競技選手権大会
【女子400mH】西村梨里、塩澤愛里 出場
【女子4×100mR】鈴木・平野・後藤・澤近 出場



全国大会出場報告
加藤 那奈美さん

競技に集中ができる環境です。部活が終わった後の和やかな雰囲気がとても良く、いつも支えてくれて応援してくれる仲間がいたことで、力を発揮することができました。



全国大会出場報告
赤塚 有柚さん

同学年の部員はおらず悩んだこともありましたが、先生や先輩、後輩に恵まれ3年間部活を続けられました。支えてくれる人がいたからこそ、全国大会に出場できたと思っています。

♡初心者大歓迎♡ 放送部

活動内容は、昼の放送、学校行事の司会進行・音響、年に2回開催される大会に向けての練習・作品制作などです。聞き手に分かりやすい放送を目指して日々奮闘しています。

活動実績

- 令和3年 NHK杯全国高校放送コンテスト 朗読部門・創作ラジオドラマ部門 出場
全国高等学校総合文化祭 朗読部門 出場
- 令和4年 NHK杯全国高校放送コンテスト 朗読部門・創作ラジオドラマ部門 出場
全国高等学校総合文化祭 朗読部門・アナウンス部門 出場
- 令和5年 全国高等学校総合文化祭 アナウンス部門 出場



受験勉強 応援メッセージ

5教科の先生方に受験に役立つ
知識や勉強方法など
を聞きました。



社会

社会科の学習は知識を広げるだけでなく、社会的な意識や思考力を養うために非常に重要な科目です。どんなトピックにも興味を持ち、好奇心を持って学ぶことで、より豊かな学びの経験ができることでしょう。「必死に生きてこそ、その生涯は光を放つ！」

国語

数学は国語がないと解けないことをご存知ですか？数学に一番必要な力は論理力です。数学だけでなく、理科も社会も英語もほとんどの人は常に国語で思考しているはず。国語はセンスで解くものではなく、「論理的に」答えを導くものです。それができるようにするためにたくさん問題を解くこと！慌てず冷静に、文章と向き合しましょう。

英語

英語は将来皆さんの活躍する世界を広げる一助には必ずです。受験勉強は辛いこともありますが、英語の学習はこの一助のための土台作りには欠かせない要素を多く含んでいます。そして、聖星では受験勉強で培った英語力を活かしながら、世界つながる学びをたくさんします。多く英文に触れ、慣れることをお勧めします。

数学

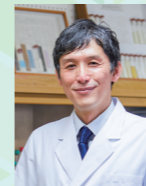
数学を難しいと感じることもあるかもしれませんが、諦めずに努力してください。基礎をしっかり理解することが大切です。分からない問題を恐れず、質問しましょう。繰り返し練習して、自信をつけてください。失敗は学びにおいてとても大切です。一問でも多く問題を解いて受験を迎えましょう。頑張ってください！

理科

理科の学習においては原理原則を理解することが大切で、それは受験勉強においても変わりません。2学期になると模試の成績が特に気になりますと思いますが、焦りは禁物です。あれこれと色々な問題集に手を出すのではなく、これまで使ってきた問題集を何度も何度も繰り返し解き直しましょう。継続は力です。

理数コース

理数コースの先生紹介



片谷先生

市内の私立高校にて、東京大学をはじめとした京都大学・東北大学・名古屋大学など旧帝大や国立医学部など様々な大学への豊富な指導経験を持つ。理科（主に化学）担当。



新村先生

市内の公立高校にて、理数科の指導経験を持つ。現在は静岡大学情報部の非常勤講師も兼任している。高校数学教科書の編集に携わっている。数学担当。



小笠原先生

理数コース科学探究の取り組みを学会（日本地球惑星科学連合2023年大会）において東京工業大学教授と共同で論文発表。「宇宙生物学への道～高等学校における探究型授業の試み～」。理科（生物）担当。

高大連携講座



科学探究における高大連携講座は、理数コースの生徒が自分の興味関心を見極め、検索するための取り組みである。令和5年度は、東京工業大学・浜松医科大学・静岡大学工学部から講師を派遣してもらい、実験講義や講演を実施した。



考察しながら実験し、まとめることで様々な視点が身についた。栗田先生の実験は生物学的な面だけだと思っていたが、化学的な面もあって面白かった。

施設見学



近隣の研究施設への訪問で、最先端の科学技術に触れることにより、専門性や論理力を活かして国際的に活躍する人材になる将来像をイメージできる。令和5年度は静岡県工業技術研究所浜松工業支援センターを訪問した。



工学系の様々なことに関して学ぶことができたので良かった。普段見る機会がないような設備を見たり、体験したりして、いい経験ができた。

留学制度

充実した留学制度があり、留学中の単位は本校の単位として認められるので3年間で卒業できます。世界への一歩を踏み出すことで、今までとは違う新たな視点や考えに出会える機会です。

留学制度概要

カナダ留学		
期間	2年次/1年間	2年次/5ヶ月間
定員	8名 4つの学校に1名または2名配属	4名 1つの学校に1名または2名配属

オーストラリア留学

期間	1年次/2ヶ月半
定員	6名

01 選考方法

入試の英語の成績と面接。入試の段階で半数を目安に合格を出す。入学後に半数を補充する。

02 留学前指導

英語力や人間力を高めるような課題がある。東京で全国の留学候補生たちと合宿を行う。



03 留学中のサポート

ISAと現地団体のコーディネーターが手厚く世話してくれるため、安心して留学生活を送れる。

04 卒業後の進路

上智大学のカトリック特別入試、南山大学のカトリック推薦などを使って、私立難関大学に進学するケースが多い。

